

TIAニュース

やあ!



TIAトピックス

日本語学習支援研修会・経験者コース
災害時外国人サポーター養成講座
コミュニティ通訳研修会

JICA 情報局

海外協力隊員が知事等へ帰国表敬



栃木県国際交流協会
Facebook



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。



▲やさしい日本語に書き換えるワークを行う参加者



▲楽しくやさしい日本語を紹介する講師の柳田氏



▲グループワークの発表

やさしい日本語普及員養成セミナー

日本語があまり得意でない外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」について学び、日頃の活動のなかで周囲に広めていただく「やさしい日本語普及員」の養成セミナーを12月12日(土)、とちぎ国際交流センターで開催し、19名が参加しました。

講師は、一橋大学国際教育交流センター准教授の柳田直美氏^{やなぎだ なおみ}。国内や県内の外国人の背景や人数の推移、「やさしい日本語」の考え方や活用例の講義のあと、グループに分かれて、お知らせ文を外国人に伝わりやすいよう書き換えるワークを行いました。それから、外国人が役所の手続きを行っているビデオを視聴し、職員の説明について、工夫がもっと必要のところ、良かったところ等について話し合いました。

最後に、今後どのように「やさしい日本語」を広めていくかアイデアを出し合いました。すでに普及を始めている参加者からは、『やさしい日本語』ロゴマークの缶バッジを着けると、「それは何か」とよく聞かれるので、それをきっかけとして『やさしい日本語』の紹介ができる、「近くのスーパーやコンビニに『やさしい日本語』を学ぶよう働きかけている」といった報告や、これから勤務先の同僚に広めたいといった積極的なコメントもありました。



とちぎ外国人相談サポートセンター スタッフ紹介

とちぎ国際交流センター内に開設した「とちぎ外国人相談サポートセンター」で相談を担当するスタッフを紹介いたします。いよいよシリーズ最終回です！



グエン ティ
トウイ カン
(ベトナム語担当)



はじめまして、カンです。
ベトナムのダナン出身です。日系
企業でコンピューターエンジ
ニアとして働いていました。

■栃木県印象

およそ6年前に来日しました。山梨県、神奈川県で暮らした後、栃木県にきました。それぞれ県民性に違いがあるように感じました。栃木県は緑が多く、静かで良いところだと思います。

■日本人との会話

ベトナム人にとって、自分から話しかけるのは勇気が必要です。でも話が始めれば、楽しく会話ができると思います。日本人に対して、どこに気を遣えばいいか、失礼になっていないか心配になるときもあります。

■相談スタッフとしての抱負

困っているベトナム人に対して、自分の知識、経験を伝えて、少しでもお手伝いができればと思います。



ろ せいこう
盧 清好
(中国語担当)



はじめまして、盧です。
マレーシアでは航空会社で
働いており、結婚を機に来日
しました。中国語のほか、
マレー語、英語も話します。

■母国での経験

マレーシアは多民族国家なので、相手に合わせた言語で話すことは普通なことです。日本では外国語を話すことに抵抗がある人が多いようですが、マレーシアでは文法などを気にせず、意思疎通の手段として気軽に外国語を話します。

■日本語ボランティアの活動

日本語を教える活動を始めました。私自身、外国語として一から日本語を勉強したので、日本語のどこが難しいかわかります。日本の生活のことも含めて、外国人の目線で伝えたいと思っています。

■相談スタッフとして心がけていること

相談する時は勇気が要るものです。困っている気持ちを受け止めて、相談者が落ち着いて話ができるようにしています。

TIAトピックス TIA TOPICS

JICA 筑波 国際理解教育実践授業報告会

1月23日(土) とちぎ国際交流センター

JICA 海外協力隊帰国報告会 in とちぎ

2月13日(土) とちぎ国際交流センター

県民の国際協力に対する意識を啓発するため、JICA 筑波と共催で、「JICA 筑波 国際理解教育実践授業報告会」及び「JICA 海外協力隊帰国報告会 in とちぎ」を開催しました。参加者は実践授業報告会が9名、帰国報告会が11名でした。

国際理解教育実践授業報告会の発表者は、2019年度 JICA 筑波教師海外研修(ネパール)に参加した仙波千浩教諭(宇都宮市立宮原中学校)、2018年度同研修(タンザニア)

に参加した仲田志穂教諭(宇都宮市立岡本北小学校)の2名です。両名は、JICA 地球ひろばが今年度実施した「国際理解教育/開発教育指導者研修」にも参加されました。今回の報告会では、それぞれSDGsをテーマに実践された



▲国際理解教育実践授業報告会のパネルトーク(左から熊倉コーディネーター、仙波氏、仲田氏)

授業内容や、児童・生徒の反応などを発表していただきました。

一方、海外協力隊帰国報告会 in とちぎでは、浅川純子氏(2018年度2次隊/派遣国:エジプト/職種:家政・生活改善)、佐川優氏(2017年度4次隊/派遣国:メキシコ

/職種:経営管理)、三島和幸氏(2018年度2次隊/派遣国:ケニア/職種:農業機械)、及びコロナの影響で一時期帰国している荒川萌氏(2019年度1次隊/派遣国:モザンビーク/職種:野菜栽培)の4名が、現地の活動内容や生活の様子などについて発表しました。

両報告会とも、それぞれ後半に、熊倉 JICA 栃木デスクがコーディネーターとなりパネルトークが行われ、前半に発表した内容を掘り下げて話していただきました。

また、ライブ配信を行い、動画視聴回数は実践授業報告会が123回、帰国報告会は62回でした。



▲海外協力隊帰国報告会のパネルトーク(左から熊倉コーディネーター、浅川氏、佐川氏、三島氏、荒川氏)

両報告会の動画をTIAのホームページで配信しています。

<http://tia21.or.jp/movie.html>



グローバル人材を対象とした合同企業説明会

12月2日（水） 栃木県総合文化センター

グローバル企業人材確保支援の一環として、海外展開を目指す県内企業が、外国人留学生、海外留学や国際協力ボランティア経験者といったグローバル人材を対象に事業紹介を行う合同企業説明会を開催し、県内企業7社、外国人留学生等130名が参加しました。

会場では、コロナ感染防止対策をした上で、3つの時間帯を設け、入場人数を制限し実施しました。

今回から参加者は、事前にホームページでエントリーシートを記入することになりました。各自が希望する時間帯に会場に、各ブースの企業の担当者から業務内容などの説明を熱心に聞いていました。



グローバル人材採用セミナー

1月29日（金） オンライン

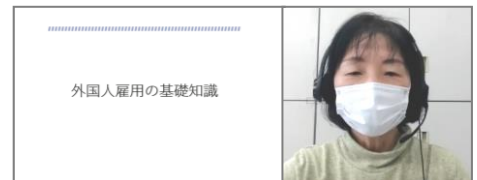
グローバル人材の採用を希望している企業等を対象に、雇用に関する手続きや事例を学ぶセミナーを開催しました。

今年度はコロナ禍のため、オンラインで実施し、8社8名の方に参加いただきました。

前半は、講師の栃木県行政書士会の^{ふかみふみ}深見史氏に、人材受け入れの際に必要な在留資格変更等の手続きなどについて、過去の事例等を交えながら話していただきました。

後半は、グローバル人材を受け入れている企業の事例報告として、シンテックス株式会社代表取締役の^{やぎさわみのる}八木澤 穰氏に

受入れの経緯、グローバル人材の業務内容等について紹介していただきました。



外国人材活用促進 Web セミナー

・製造業部会主催セミナー

1月26日（火） オンライン

県内製造業の企業等を対象とした外国人材の受入れに関するセミナーを開催しました。

「単純明快！！外国人材受入れを成功に導くポイント」と題して、株式会社ワールディングの^{いけべしやういちろう}池邊 正一朗氏にご講演いただき、外国人材受入れに関する基礎知識、活躍や定着に必要な考え方や取組事例、採用方法など具体的に学びました。

・介護部会主催セミナー

2月17日（水） オンライン

県内介護事業所等を対象に、東南アジア4か国（ミャンマー、フィリピン、ベトナム、インドネシア）の技能実習生送り出し機関から、各国のお国事情、介護の教育現場などを紹介していただきました。



日本語学習支援研修会・経験者コース

11月6日、20日、12月4日、18日 隔週金曜日 全4回
とちぎ国際交流センター

地域の日本語教室等において、外国人に日本語学習を支援している方を対象とした研修会を開催し、県内各地から39名が参加しました。講師として、文化庁地域日本語教育スタートアップ事業アドバイザーの^{まんみなみより}萬浪絵理氏とインターカルト日本語学校講師の^{たぐりはるな}田栗春菜氏をお迎えしました。

第1回目は、地域における日本語教室の意義、地域で関わることの良さについて考えました。また、2020年に閣議決定された日本語教育を推進するための基本的な方針について、わかりやすく解説していただきました。またオンラインでの日本語学習活動の様子を映像で見ました。

第2回～第4回は、学習者が自分自身について話す学習を通じて日本語を身に付ける学習教材「わたしを伝える日本語」の教材の使い方を学び、対話を中心とした教室活動を体験しました。





災害時外国人サポーター養成講座

12月23日(水) 菊沢コミュニティセンター(鹿沼市)

鹿沼市、鹿沼市国際交流協会、かぬま多文化共生プラン推進委員会との共催で、災害時の外国人支援の基本を学ぶ講座を開催し、鹿沼市民を中心に35名が参加しました。

はじめに、鹿沼市国際交流協会の江崎章子氏、行本リジア氏が、2019年10月の台風19号の際の協会の対応や外国人市民との多文化共生の取組みについて報告しました。

次に、講師のNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事の柴垣 慎氏から、災害時における外国人支援として、経験知の違いにより同じ情報でも適切な避難行動につながらない場合があること等考え方や過去の災害支援の取組みについて紹介がありました。

最後に、近所で支援が必要な外国人がいるという想定で、災害時の課題を整理し、自分たちができることをグループで話し合いました。参加者からは、「グループで考えるときさまざまな解決策が出た」、「日本人も外国人も助け合って災害を乗り越えたい」と感想がありました。



▲熱心に説明する講師の柴垣氏(右)

コミュニティ通訳研修会

2月19日(金) オンライン

地域で通訳支援を行う「コミュニティ通訳」について学ぶ研修会をオンラインで開催しました。39名の参加者の国籍・地域は、日本、ベトナム、中国、タイ、フィリピン、ブラジル、スリランカ、台湾、マレーシアで、8言語(英語、中国語、ベトナム語、シンハラ語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語)に及びました。

講師は東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授の内藤 稔氏。前半は、「コミュニティ通訳の基本」と題し、多様化する日本社会の背景、コミュニティ通訳の活動内容の現状について講演を行いました。後半は、逐次通訳に必要な短期記憶や要点をまとめて伝えるリプロダクショントレーニング、ノートの取り方、言語別に分かれたロールプレイによる通訳実習を行いました。

初めてのオンラインでの研修でしたが、「難しかったが、楽しい経験になった」との声があり、有意義な研修会となりました。



▲演習の説明をする講師の内藤氏

JICA 情報局

海外協力隊員が 栃木県知事等へ帰国表敬

12月24日(木)、栃木県出身のJICA海外協力隊4名が、栃木県庁、青年海外協力隊とちぎ応援団、及びTIAに帰国表敬訪問を行いました。



▲知事(中央)に表敬訪問

4名は、昨年3月にコロナ禍により帰国後、残念ながら任期満了を迎えましたが、任国での活動や今の思いを語る帰国隊員たちに対し、知事をはじめ多くの方から、活動をねぎらう温かいお言葉がありました。

この帰国表敬に参加したうち3名は、2月13日実施の「JICA海外協力隊帰国報告会 in とちぎ」で、体験談を発表しました。国際協力への情熱を語った隊員の報告会の動画をぜひ、ご視聴ください。(裏面参照)

◆筑波と世界をつなぐ様々な情報を発信中!

Website: <https://jica.go.jp/tsukuba/>

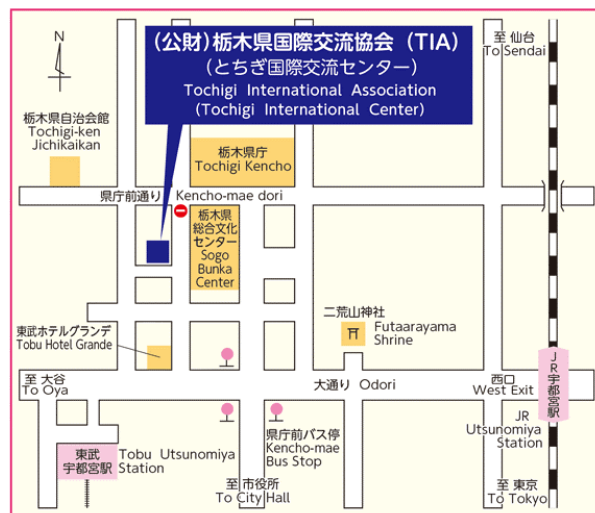
Facebook: <https://www.facebook.com/jicatsukuba>

JICA 栃木デスクからのお知らせ

- JICA ボランティア募集 実施します!
5月20日(木)~6月30日(水)
⇒個別相談はいつでも栃木デスクまで!
- JICA 筑波施設訪問(学校、市民団体等)、出前講座等
ご質問、お問い合わせはお気軽に。

TIA からのお知らせ

- 2020年10月24日に実施した「とちぎ多文化共生フォーラム」の動画配信は、3月31日までとなります。まだご覧いただいていない方はぜひご視聴ください。
<http://tia21.or.jp/movie.html>
- TIA事業とSDGsについて、TIAのホームページに掲載しました。ぜひご覧ください。
<http://tia21.or.jp/parts/files/tiasdgs.pdf>



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)
業務時間 8:30~17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始
URL <http://tia21.or.jp> Email tia@tia21.or.jp